



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部
 コード番号 4694 URL http://www.bml.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)山下 勝司 (TEL)03(3350)0111
 問合せ先責任者 企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	79,549	5.5	6,233	△13.2	6,587	△12.5	3,676	△14.7
26年3月期第3四半期	75,378	4.4	7,181	24.2	7,525	26.4	4,309	36.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,967百万円(△15.0%) 26年3月期第3四半期 4,665百万円(37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	173.11	172.56
26年3月期第3四半期	202.91	202.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	92,258	60,987	63.2
26年3月期	88,525	57,657	62.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 58,299百万円 26年3月期 55,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年3月期	—	25.00	—		
27年3月期(予想)				35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,350	5.4	6,650	△18.8	7,050	△17.9	3,810	△23.6	179.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一 社、除外 一 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	22,007,363株	26年3月期	22,007,363株
27年3月期3Q	769,261株	26年3月期	769,261株
27年3月期3Q	21,238,102株	26年3月期3Q	21,238,087株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、急速な高齢化の進展や医療の高度化を背景に国民医療費が過去最高を更新し、今後も著しい増加が見込まれていることから、各種の医療制度改革が実施され、医療費抑制に向けた様々な取り組みが行われております。

受託臨床検査業界におきましては、昨年4月の消費税率引き上げに伴う受診控えによる需要の減少が見られたことや、2年毎の診療報酬改定の影響などに加え、業者間競争が一段と激しさを増していることから、事業環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高79,549百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益6,233百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益6,587百万円（前年同期比12.5%減）、四半期純利益3,676百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、引き続きクリニック市場の開拓強化を図るとともに、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式（検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託）による提案営業、既存ユーザーへの深耕営業を進めてまいりました。この結果、既存の臨床検査事業につきましては、前年同期比1.4%の増収となりました。一方、グループ戦略として(株)岡山医学検査センター（以下「岡山医学」という）の株式を取得し、本年度より同社を連結子会社といたしました。これらにより、臨床検査事業全体の売上高は、前年同期比4.5%の増収となりましたが、利益面については、価格競争の激化に加え岡山医学ののれん償却負担や人件費負担の増加などにより減益となりました。

その他検査事業につきましては、食品衛生事業において、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング、腸内細菌検査等の拡充を図ってまいりました。また、新検査センターを昨年5月に稼働させ、効率的で高品質な検査体制の構築に取り組んでおります。売上高は、食品衛生事業に岡山医学の売上が加わったこともあり、前年同期比7.1%の増収となりました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「クオリス (Qualis)」と「メディカルステーション (MS)」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレイスを推進しましたが、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が大きく、減収となりました。

その他事業につきましては、SMO事業[※]を営む(株)アレグロが、厳しい市場環境の中、新規受託が伸び悩み減収となりました。一方、岡山医学の調剤薬局事業の売上が新たに加わったことにより、その他事業全体の売上高は前年同期比612.0%の増収となりました。

※SMO：特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関をいう。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産92,258百万円（前期末比3,732百万円増）、純資産60,987百万円（前期末比3,329百万円増）、自己資本比率63.2%（前期末比0.9%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が1,367百万円、受取手形及び売掛金が1,764百万円それぞれ増加し、固定資産でのれんが821百万円増加しています。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が1,856百万円増加しております。また、純資産の部では利益剰余金が3,094百万円増加しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月14日に公表した修正予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を勤務期間を基準とする方法から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が231百万円減少し、利益剰余金が140百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,597	28,965
受取手形及び売掛金	17,742	19,506
商品及び製品	63	79
仕掛品	488	371
原材料及び貯蔵品	1,625	2,030
その他	2,724	1,911
貸倒引当金	△192	△164
流動資産合計	50,049	52,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,127	9,592
土地	12,723	13,138
その他(純額)	6,986	6,501
有形固定資産合計	28,836	29,232
無形固定資産		
のれん	1,352	2,174
その他	2,856	2,663
無形固定資産合計	4,209	4,837
投資その他の資産		
その他	5,529	5,590
貸倒引当金	△98	△102
投資その他の資産合計	5,430	5,488
固定資産合計	38,476	39,558
資産合計	88,525	92,258
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,028	13,884
短期借入金	930	930
その他	10,558	9,133
流動負債合計	23,516	23,947
固定負債		
役員退職慰労引当金	89	153
退職給付に係る負債	4,253	4,207
その他	3,008	2,962
固定負債合計	7,351	7,323
負債合計	30,868	31,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	43,194	46,289
自己株式	△1,246	△1,246
株主資本合計	54,640	57,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	388
退職給付に係る調整累計額	169	175
その他の包括利益累計額合計	548	564
新株予約権	108	119
少数株主持分	2,359	2,568
純資産合計	57,657	60,987
負債純資産合計	88,525	92,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	75,378	79,549
売上原価	47,073	50,750
売上総利益	28,305	28,798
販売費及び一般管理費	21,123	22,565
営業利益	7,181	6,233
営業外収益		
設備賃貸料	87	89
不動産賃貸料	56	47
その他	292	292
営業外収益合計	436	430
営業外費用		
支払利息	49	41
不動産賃貸原価	25	23
その他	16	11
営業外費用合計	91	76
経常利益	7,525	6,587
特別利益		
固定資産売却益	26	44
訴訟損失引当金戻入額	55	-
その他	8	0
特別利益合計	90	44
特別損失		
契約変更による精算金	-	316
その他	110	71
特別損失合計	110	388
税金等調整前四半期純利益	7,506	6,243
法人税、住民税及び事業税	2,345	1,613
法人税等調整額	558	676
法人税等合計	2,903	2,290
少数株主損益調整前四半期純利益	4,603	3,952
少数株主利益	293	276
四半期純利益	4,309	3,676

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,603	3,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	9
退職給付に係る調整額	-	5
その他の包括利益合計	62	14
四半期包括利益	4,665	3,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,371	3,692
少数株主に係る四半期包括利益	294	275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

検査区分		前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	30,375	40.3	31,064	39.0	2.3
	血液学的検査	6,117	8.1	6,366	8.0	4.1
	免疫学的検査	15,147	20.1	15,581	19.6	2.9
	微生物学的検査	4,156	5.5	4,435	5.6	6.7
	病理学的検査	5,096	6.8	5,420	6.8	6.4
	その他検査	8,778	11.6	9,942	12.5	13.3
	(臨床検査事業小計)	69,673	92.4	72,810	91.5	4.5
その他検査事業	2,729	3.6	2,923	3.7	7.1	
検査事業小計	72,402	96.0	75,733	95.2	4.6	
医療情報システム事業	2,827	3.8	2,760	3.5	△2.4	
その他事業	148	0.2	1,055	1.3	612.0	
合計	75,378	100.0	79,549	100.0	5.5	

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。